

天溪 2013年 「花のスイス・アルプスハイキング9日間」

6月19日発

天溪トレッキングの入門コース「花のスイス・アルプスハイキング 9日間」を6月19日～6月27日、6月27日～7月5日2回続けて行いました。5月末にドナウ川流域、オーストリア、ドイツ南部、中東欧を襲った大雨の影響があったのかスイスアルプスの残雪は物凄く、この10年来最高でした。そのためお勧めトレイルのクライネンシャイディック～メンリッヘンやゴルナグラート～リッフェルベルグはハイキング不可。とはいえ早咲き、遅咲きの花が一斉に咲く密度の濃いお花畑や、毎日変化する天候を楽しむことができました。



(マッターホルン北壁 6月23日)

○グリンデルワルド

6月初めにインターネットのWeb Cam で現地状況を調べたところ、お花畑どころかスキーができそうな辺り一面白銀の世界。昨年多いと思われた残雪量など比較にならない桁違いの多さ。毎年6月は気温が上がり雪解けが急速に進むので、これを信じて日本を出発。初日のフィルストは半袖姿の真夏の陽気にもアイガー方面から襲来する雷にしばし驚かされながらハイキング。すさまじい残雪量が今年最初の欧州トレッキングの一報です。



(フィルスト 6月20日)



○ユングフラウヨッホ・メンリッヘン

昨日のフェーン現象のような陽気が一変し気温は急降下。朝からどんより雲が垂れ込めアイガーも雲の中。登山電車でユングフラウヨッホへ向かう途中、アイガーグレッシャー駅に差し掛かった所で一瞬雲が切れユングフラウが眼前に。これはラッキーと思いながら電車はアイガートンネルへ。ところがヨッホに到着すると辺り一面雲の中で景色はゼロ、残念！ 雲上の楽園道、クライネシャイディック～メンリッヘン間は残雪多く侵入禁止。その為、お花畑の中をウエンゲンまで下り、ロープウエーでメンリッヘンへ上がりました。



(一瞬ユングフラウ 6月21日)



(ウエンゲン 6月21日)

○サースフェー

ザースフェーに入り天候が漸く安定。この村は氷河で有名ですが野生のマーモットに餌付けができる所。ニンジンとピーナツでおびき寄せるとやはりリス科。ピーナツが大好物のようでした。その後、ケーブル、地下ケーブルと乗り継いでミッテルアラリンへ。眼前のミシャベル山群ばかりかベルナーオーバーランドの山々（アレッチ、ユングフラウ）が遠望出来ました。



(サースフェー 6月23日)



○ツェルマット

サースフェーの余勢をかってツェルマットも快晴に。午後のマッターホルンが美しく映えました。翌朝、真っ赤に染まるマッターホルンを期待するも、何故かこれは外れ！ 翌日マッターホルントレイルを下ると見たこともない翁草の群生。しかし、素晴らしい翁草の出迎えにもマッターホルンの頂上は見え隠れ。



(マッターホルン 6月23日)



○シャモニ

ツェルマットの朝は曇天ながらシャモニは快晴。エギュードミデから手が届きそうなモンブラン、切立つグランドジョラス、そしてグランコンバンやモンテローザなどスイスの山々も堪能しました。



(エギュードミディ 6月25日)



次回は6月27日発「花のスイス・アルプスハイキング9日間」の様子をお伝えします。

記 天溪 赤沼